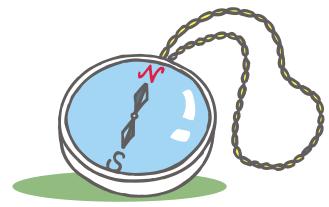


羅針盤

第32号

令和7年3月17日（月）



◆ 「諦めない努力」

先週末の3月14日（金）に挙行した本校の卒業証書授与式において、第76期生の皆さんに式辞を通じて贈った「諦めない努力」という言葉を在校生の皆さんにも紹介しておきます。人は誰もが、自分の持つ夢や目標に向かって努力をしながら生きているものです。当然のことながら、その過程では失敗や挫折といったものが、度々訪れるものです。「努力しても成績が上がらない」ことや、「友だちとの人間関係がうまくいかない」といったことなど、悩み事は人それぞれに違いがあることだと思います。そのような時、自分が思い描いた夢や自分で掲げた目標を簡単に諦めて



しまう人と、決して諦めることなく努力をし続ける人では、どちらが人としての大きな成長をなすことができるでしょう。失敗や挫折といったものを乗り越えた時にこそ、人はより強くなれるものだと思います。ドイツの偉大なる作曲家であるルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンは、「努力した者が、成功するとは限らない。しかしながら、成功する者は、皆努力している。」という言葉を残しています。また、元読売ジャイアンツのプロ野球選手で、通算868本というプロ野球のホームラン記録を持つ王貞治（おうさだはる）は、「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるとしたら、それはまだ努力とは呼べない。」という名言を残しています。自分自身が諦めなければ、その結果として、人生に失敗はありません。「諦めない努力」を続けることで、人は人として大きく成長していくものです。在校生の皆さんには、現在、自分自身の夢や目ざすべき目標といったものが明確に持ち得ていない人もいることだと思います。それでもきっといつか、それぞれの成長とともに自分がなすべきことが見つかり、夢や目標を見いだすことができるときが必ずやってくるはずです。その夢や目標の実現に向けて、決して諦めない気持ちを持ち続けて、必要とされる弛まぬ努力をし続けることが大事なことであると気づくときがやってくるはずです。これまででも、何度も繰り返して、「焦らず、慌てず、諦めず」ということを伝えてきたかと思います。「焦らず」と「慌てず」は、自分自身の気持ちの表れとして行動すべきことであり、「諦めず」は、何よりも自分自身が持つべき精神的な強い思いの表れとうべきではないでしょうか。この気持ちの支えとなるべき「諦めず」努力を繰り返すことで、いつか自然と自分があるべき結果へと近づい

ていけるものだと考えます。「諦めない努力」の先にこそ、必ず素晴らしい結果が待っているものです。どのようなことにも耐え抜く力と、こつこつと日々の努力を積み重ねていくことに大きな価値を見いだすことができる人であってほしいと思います。前へ前へと進みゆく地道な努力を怠ることなく、諦めずにチャレンジし続けることが、魅力的な人として大きく飛躍していくものと信じて疑うことはありません。

